



## 名古屋の暑い夏が来ます

国家公務員共済組合連合会 名城病院副院長

城 浩 介

春が過ぎ、青葉が目まぶしいこの頃となってきました。直に雨の多い梅雨を迎え、その後には過ごし難い名古屋の暑い夏がやってきます。このように季節は例年の如く変わっていきませんが、今年は例年と異なる点があります。それは新型コロナウイルス感染で、2月には28カ国で6万人の感染者(死者1,300人)でしたが、その後猛威を振るい、5月初旬には200カ国以上で360万人を超える人が感染し(死者も25万人以上)WHOもパンデミック感染と定義しました。この感染により日本では初めて緊急事態宣言が発出され、国民は今までに経験をしたことがない生活を強いられることになりました。本誌が発刊される頃には少しでも感染が収束し、皆様の日常生活が改善されること

を願っております。

さて、本稿では暑い夏に注意を要する熱中症について述べます。熱中症は、明治時代の作家で医師でもある森鷗外らの造語と言われています。その後は病型が確立された1995年頃からよく使われるようになりました。

「熱中症」は、「熱疲労・熱痙攣・熱失神・熱射病(日射病)」の4種類のタイプに分類されます。「熱疲労」は、水分不足による血圧の低下によって、頭痛やめまい、吐き気や脱力感などが生じます。「熱痙攣」は、汗を大量にかいた後塩分の補給をしなかった場合に起こり、腹部やふくらはぎの筋肉が痛みを伴い強く痙攣します。「熱失神」は、直射日光下の野外や高温多湿の室内等で長時間活動していた場合に、眩暈

や失神したりします。「熱射病(日射病)」は、体温が40℃以上に上昇し、発汗もみられなくなり、吐気や頭痛・言動障害・意識障害が起きます。最悪の場合、死亡するケースがあります。以上により、熱中症対策として、水分や塩分を十分に補給すること、直射日光の当たる野外や高温多湿の部屋に長時間居ないことが挙げられます。

また、2019年の統計によりますと全国の5月から9月の熱中症による救急搬送は71,317人で、8月がピークでしたが、5月にも4,448人が搬送されております。まだ暑さに対応していない身体や環境を考え5月より注意をしてください。

今年は新型コロナウイルス感染拡大のもと暑い夏を迎えます。皆様が健康な生活を送られます事を願っておりますし、名城病院がその健康に少しでも貢献したく思っております。

健康についてどのような事でも良いので、ご相談ください。

宜しく願い申し上げます。



### 名城病院の理念

1. 良い医療を安全、確実に提供することは、私たちの使命です。
2. そのために、私たち、職員全員は、プロ意識を持ってそれぞれの技術とサービスを向上させ、医療の質と安全の管理に最大限の努力を払います。
3. 私たちは、患者様の権利を尊重し、最もふさわしい、納得の行く医療を行います。
4. 私たちは、地域社会と協力して人々の健康と福祉の向上に奉仕します。
5. 私たちは、病む人には安らぎと満足を、職員には働きやすさと誇りの得られる病院をめざします。

以上のとおり、病院の果たすべき使命とあるべき姿を認識し、皆さんに「親しまれ、信頼され、喜ばれる病院」であるように、常に努力します。

## 令和2年4月1日 肝臓病センター設置されました

令和2年4月1日、肝臓病センターが設置されました。当センターでは4名の肝臓病の専門家が、ウイルス性肝炎、脂肪肝、肝がんなど、あらゆる肝臓病の診療を行います。

B型やC型のウイルス性肝炎は、内服の抗ウイルス薬でほとんどの患者さんがよくなるようになりました。ウイルス性肝炎と言われたことがある人は、ぜひ治療を受けてください。注意しなけ



ればならないのは、抗ウイルス薬でよくなると肝がんになるリスクは低下しますが、ゼロになるわけではないので、その後も定期的に超音波検査などで、肝がんのスクリーニングをする必要があるということです。治ったと言われても、必ず定期検査を受けてください。

脂肪肝も肝硬変や肝がんを発症することがあるので、注意が必要です。当センターでは肝硬度測定により、肝硬変に進行しているかどうかを診断できます。

最近では様々な病気に対して多くの薬物が使用されるようになり、薬物性肝障害がよくみられます。多くの薬物の中から原因薬



物を特定し、治療します。

過度の飲酒による肝障害が増えていますが、治療のお役に立ちたいと思っています。

その他種々の肝臓病があり、診断が難しい病気もありますが、肝臓病の専門家として、どんな肝臓病にも対応いたします。

肝臓病は症状がなく、気づかないうちに肝硬変や肝がんに進行することがあります。早期発見・早期治療が肝心なので、肝障害のある人は肝硬度測定などの精密検査のために当センターを受診して頂ければ幸いです。

## 麻酔科の紹介

名城病院では現在男性医師2名女性医師2名(1名産休中)に愛知医科大学からの臨時の先生を加えて、日々の麻酔業務を行っています。麻酔科の仕事は手術中の患者さんの意識を取り除き、手術侵襲による痛みとストレスから患者さんを解放することです。他にも全身麻酔の間、全身への酸素が十分に供給されるように、気管内に特殊なチューブを挿入し、酸素の通り道を確保し体の酸素不足を防ぎます。さらに手術中の出血にはそれに見合った量の輸液や輸血を行い、血圧の低下を防ぎ、全身の循環が正常に保たれるように対応しております。いわば麻酔科は手術中の患者さんの命に関係が深い呼吸と循環の管理を受け持っているわけです。あまり表には出ない手術の脇役、地味な科ではありますが。

気道の確保や循環の管理などで難しい症例もあります。挿管困難や大量出血等です。このよ



うな時、私たち麻酔科は文字通り必死になって命を繋ぐことに努力します。また術後痛にも関心をもっております。激しい術後痛の場合では、術後の呼吸や血圧に影響を与えますので、痛みによる苦痛が少なくなるように努力しています。患者さんとの関わりも他科の先生のようにはいかないことが多いのですが、少ない中にあっても患者さんに誠意をもって接していきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。



新任ドクター紹介

よろしくお願いたします



肝臓病センター  
**吉岡 健太郎**  
よしおか けんたろう

4月に藤田医科大学病院から赴任してきました吉岡健太郎と申します。ウイルス性肝炎、脂肪肝、肝がんなどの肝臓病を担当します。肝臓病は自覚症状がなく、気が付かないうちに肝硬変や肝がんに行進することがあります。早期の治療により進行が防げます。肝障害と言われたら、ぜひ受診してください。



整形外科  
**岩沢 太司**  
いわさわ たいじ

4月より整形外科に赴任しました岩沢太司と申します。当院で脊椎脊髄疾患を学び、また、患者さんに寄り添った医療が行えるように心がけていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



呼吸器内科  
**伊勢 裕子**  
いせ ゆうこ

4月より呼吸器内科に赴任しました伊勢裕子と申します。呼吸器内科には様々な疾患がありますが、長く付き合う必要のある病気も多くあります。様々なご心配や不安がある時にお応えできるよう心掛けております。どうぞよろしくお願いたします。



循環器内科  
**河西 宏**  
かわにし ひろし

4月より循環器内科に赴任しました河西 宏と申します。循環器疾患には心不全、虚血性心疾患、不正脈疾患等があり、急性期から慢性期まで幅広く治療が必要な病気です。個々の患者さんに応じた医療を提供できる様、努力して参りますので、よろしくお願いたします。

研修医紹介

よろしくお願いたします



糸井 武  
いといたけし



手柴 富美  
てしばふみ



錦見 慶太郎  
にしみけいたろう



武藤 愛実  
むとうまなみ



森本 佑  
もりもとゆう

11階病棟

11階病棟師長

山本京子

11階病棟は呼吸器内科、脳神経外科、歯科口腔外科、眼科の混合病棟です。

約半数の患者さんが75歳以上であるため、治療を確実にすることはもちろんのことですが、入院生活によって起こりうる筋力低下や認知力低下を予防することも重要になります。具体的には、早期からのリハビリ開始や転倒転落予防の療養環境の提供、認知力が低下した患者さんに対する最適対応の検討などを積極的に行っています。

また飲み込む力が低下している患者さんは、リラックスする音楽を流しながら、食堂で看護師見守りのもと昼食を召し上がってもらっています。

治療と共に筋力・認知力の低下を予防するためには、様々な職種との協働が欠かせません。医師・看護師・薬剤師・理学療法士・医療ソーシャルワーカー・退院調整看護師との定期的なカンファレンスや、認知症ケアチーム・栄養サポートケアチームとの連携を密に行い、最善の

医療を提供できるように多職種で検討しています。また、退院後も安心して自宅で過ごしていただけるように、地域の往診医・訪問看護師・ケアマネジャー・ヘルパーなどと積極的に連携し、退院時に自宅まで病棟看護師が同行して自宅でケアマネジャーなどの在宅サービスのスタッフに引き継ぐ試みも行っていきます。

患者さんを「病気を治療している人」としてだけでなく、「生活する人」として捉え、よりよい医療・看護が提供できるように、日々努めています。



庶務課

庶務課長  
丸山善生

当院では、患者さんの癒しや気分転換になるように、また地域のみなさんが足を運び、当院を親しんでいただく為に各種イベントを開催しています。

令和元年度に実施した、イベントについてご紹介させていただきます。

市民公開講座

医師や技術職スタッフ等が、皆さんに分かりやすいテーマで毎月2回程度開催しています。

1回目に「肝臓のお話し」を開催し、様々なテーマで17回開催しました。毎回20～50名程度の患者さんや



地域のみなさんにご参加をいただいております。

ロビーコンサート

1階ロビーで、楽器演奏などのロビーコンサートを開催しています。「グランドハーブコンサート」「ハンドベルコンサート」「管楽器とピアノによるコンサート」を開催しました。



職業体験イベント

令和元年8月に、小学生を対象として医師・薬剤師・看護師などの業務を体験していただくイベントとして「わくわくWORK」を開催し大変好評でした。



さらに、当院では患者さんに安心して受診していただく為、外来ボランティアの導入をすすめています。当院でのボランティア活動にご興味のある方は、是非ご連絡をお願いいたします。

ボランティア募集・受付担当者  
国家公務員共済組合連合会 名城病院  
庶務課長 052-201-5311



<http://www.meijohosp.jp/>

名城病院診療等のご案内



診療科目

内科（消化器内科／呼吸器内科／腎・糖尿病内科）、循環器センター（循環器内科／胸部心臓血管外科）、小児科／小児循環器科、外科、整形外科（脊椎脊髄センター）、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、歯科口腔外科、神経内科



診療受付時間

新患 午前 8：30～11：30  
再来 午前 8：00～11：30



休日

土・日・祝日・年末年始（12/29～1/3）



面会時間

一般 午後 0：30～8：00  
ICU（家族のみ） 午後 0：30～4：30  
午後 5：00～8：00



- ・時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越しください。
- ・人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付しています。



〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号

052-201-5311 FAX 052-201-5318